

令和4年度 芳賀町立芳賀中学校 学校評価書

学校評価のねらい

すべての教育活動その他の学校運営が効果的に実施できているかどうか、保護者、学校、地域住民(学校評議委員=学校関係者評価委員)等が連携し、評価する。それらを通して、生徒がよりよい教育活動を受けられることをめざし、学校をよりよくするための方策を明らかにする。

1 校訓・教育目標・目指す生徒像

校訓	教育目標	目指す生徒像
創造	自ら学ぶ生徒 (創造)	・自分の考えを、自信をもって発表できる生徒 ・自ら課題を見つけ、周囲と協力して解決できる生徒
敬愛	心豊かな生徒 (敬愛)	・明るく元気に大きな声で、あいさつができる生徒 ・清掃活動に一生懸命に取り組める生徒
実践	たくましい生徒 (実践)	・「早寝・早起き・朝ご飯」を着実に実践できる生徒 ・交通ルールを守り、安全に自転車に登下校できる生徒
	ふるさとを愛する生徒 (本校の使命)	・ボランティア・奉仕活動、地域活動等に積極的に参加できる生徒 ・運動・文化芸術活動等に意欲的に取り組める生徒

2 目指す学校像

すべての生徒と教職員が 夢を育み 知を磨き(創造) 心豊かに(敬愛) 汗を流して(実践) 高め合う学校
--

3 学校経営の方針

基本経営理念：「芳賀町に誇りをもち 明日の芳賀町を担う生徒の育成」 ～誇れる、つよい学校・生徒づくり～
1 生涯学習社会に生きる生徒の育成
2 望ましい生活習慣と社会性の育成
3 確かな学力の保証
4 豊かな心をもつ生徒の育成
5 健やかな体をもつ生徒の育成
6 全職員による学校経営参画 (チーム学校の実践)
7 家庭や地域、関係機関との協働による学校経営 (チーム学校の実践)

4 本年度の指導視座と重点項目

視 座：10年後の勝負に勝てる生徒を育成
重点項目：人間力の基礎・基盤をつくる…思いやりの心と確固たる生活習慣 →明日の、10年後の自分のために「時を守り 場を清め 礼を正す」

5 本年度の重点目標・努力点

1 確かな学力を身に付けた生徒の育成	プロジェクト知	
①学習形態を工夫、習熟度学習、ICTの活用	②話をつなぐ教師の指導スキルの向上	
③魅力ある教材の収集	④教科部会での授業研究等の充実	
2 豊かな心をもつ生徒の育成	プロジェクト徳	
①有効な補助教材の共有化	②道徳的実践力に結びつくよう指導	③学校行事を通して生徒が感動を共有
④「3つのルール」の徹底。(時間いっぱい、無駄話せず全力で、身支度整える)		
3 健やかな体をもつ生徒の育成	プロジェクト体	
①電子機器の使い方の指導	②担任と栄養教諭や養護教諭と連携した食に関する指導の工夫	
③生徒の様子をよく観察しながら主担当と副担当が連携した部活動を充実		
4 夢や目標に向かって力強く自己実現を図っていく生徒の育成	プロジェクト生き方	
①「居がいのある学級」作りなど学業指導の充実、生活の基盤づくり	②町等と連携したボランティア活動の充実	
③未然防止策や教育相談を充実し、情報の共有化と初期対応の体制強化		
④系統立てた進路指導の充実		

6 本年度の学校課題

10年後の勝負に勝てる生徒の育成 ～「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を高める教育～
--

7 自己評価表

○:目標指数より+3%以上 ×: -3%以下 △:+3%～-3%

項目	評価項目 【目標指数(A+Bの肯定的回答)】	主な具体的な取組	評価A+Bの肯定的回答 【次年度の具体策】		
プロジェクト 知	1 生徒の学力の向上 生徒 私は授業の内容がよくわかる。	【本年度の具体策】 ・プリントや学習形態などを工夫し、習熟度学習を行う。 ・ICTの活用。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 85.4% △ 85.9% 保護者 79.6% △ 83.5% 教師 100.0% ○ 100.0% 今年度も、県や町の指導主事を迎えて授業づくりや授業改善に取り組み、研究授業や授業研究会を実施した。今後も指導主事の指導を仰ぎながら、毎週開かれる教科部会で情報の共有や指導法の意見交換などで指導力を向上させ、生徒の学力向上を推進していきたい。 【次年度の具体策】 ・学び合いの学習を推進する。 ・ICTの活用。		
	保護者 学校は子どもの学力の向上を図っている。				
	教職員 教職員は、生徒の学力の向上を図っている。				
	【目標指数】 生徒 85% 保護者 80% 教師 90%				
	2 コミュニケーション力 生徒 私は人前で自分の考えを発表することができる。			【本年度の具体策】 ・話をつなぐなど教師の指導スキルの向上。 ・ペア・小集団の大きさや話題など話し合い活動の設定の工夫をする。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 41.7% × 43.8% 保護者 72.4% △ 73.9% 教師 100.0% ○ 100.0% 発表について、生徒が苦手意識をもっているため、ここ数年、表現力の育成が課題となっている。グループ活動を取り入れたり、小さな意見の発表の場を設けたりなど授業展開を工夫し、意見を言いやすい雰囲気作りに努めている。今後も継続して、生徒が表現力やコミュニケーション能力を高めていけるよう機会を増やしていきたい。 【次年度の具体策】 ・話合いや発表の活動を増やし、生徒の発表スキルと自信を向上させる。 ※アンケート(生徒)項目の変更 自分の考えを伝えることができる。
	保護者 学校は子どもの発表力の向上を図っている。				
教職員 教職員は、生徒の発表力・コミュニケーション力の向上を図っている。					
【目標指数】 生徒 60% 保護者 75% 教師 90%					
3 学習意欲の向上 生徒 私は授業に一生懸命に取り組んでいる。	【本年度の具体策】 ・魅力ある教材の収集。 ・小テストなどでクラス対抗で競わせるなどの工夫をする。 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 91.3% ○ 93.0% 保護者 71.6% × 76.6% 教師 100.0% ○ 97.1% 分かりやすい授業や分かって楽しい授業の展開を心がけ、生徒のつぶやきからめあてを作り、授業の終わりに振り返りをし、学習内容を確認している。今後も生徒とともによりよい授業を展開するため授業改善を継続していきたい。また、「学力向上の日」(木)と称し朝の学習時間にミニテストを実施し、努力の成果が確認できる体験を重ねた。 【次年度の具体策】 ・導入の工夫 ・小テストなどでクラス対抗で競わせるなどの工夫をする。			
保護者 学校は子どもの学習意欲の向上を図っている。					
教職員 教職員は、生徒の学習意欲の向上を図っている。					
【目標指数】 生徒 85% 保護者 80% 教師 90%					
4 家庭学習 生徒 私は家庭学習の仕方・習慣が身に付いている。			【本年度の具体策】 ・学習のしおりの活用 ・学習方法の指導(学級活動) ・家庭学習のルールの一 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 60.8% × 68.8% 保護者 68.1% × 72.7% 教師 91.7% △ 82.9% 「学びのすすめ」を活用し、クラス担任が時間の使い方や繰り返し学習することの大切さを伝え、友人の家庭学習帳のよい例を紹介するなど粘り強く指導している。また、教科担任から学習のポイントや学習方法について繰り返し指導してきた。今後、学校と家庭が意識を統一できるように、保護者会などで個に応じた学習方法を学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣化を図ってきたい。 【次年度の具体策】 ・タブレットの有効活用	
保護者 学校は子どもの家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図ったりしている。					
教職員 教職員は、生徒の家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図っている。					
【目標指数】 生徒 75% 保護者 75% 教師 90%					
5 授業力の向上 生徒 私は授業が楽しく、わかりやすい。	【本年度の具体策】 ・教科部会での授業研究等の充実 ・効果のあった指導方法や資料の共有化(昨年度の具体策の継続) 等	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 77.6% △ 80.5% 保護者 71.8% × 73.3% 教師 97.2% ○ 100.0% 「学び合い」の研究を通して、教科部会で、生徒同士が意見交換をしたり発表したりする時間の設定、めあての設定の工夫など授業の進め方を工夫・研究してきた。また、タブレットPCや電子黒板などICT機器も積極的に活用してきた。今後も、指導主事の支援を請け授業展開の工夫・改善に努め、生徒が主体的に取り組める授業を展開し、生徒の学力向上につなげたいと考えている。 【次年度の具体策】 ・教師の学び合いのスキルの向上を図る。			
保護者 学校は、子どもに楽しく、わかりやすい授業を展開している。					
教職員 教職員は、生徒にとって楽しく、わかりやすい授業を展開している。					
【目標指数】 生徒 80% 保護者 75% 教師 90%					

プロジェクト 徳	6 道徳の授業 生徒 私は道徳の時間に、テーマについて一生懸命考えている。 保護者 学校は様々なテーマに沿った道徳の授業を展開している。 教職員 教職員は、年計に沿って道徳の授業を進めている。	【本年度の具体策】 ・学年だよりに『道徳コーナー』を設け、道徳の授業の様子を毎月保護者に知らせる。 ・各学年内で、有効な補助教材の共有を図る。	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 87.1% △ 92.2% 保護者 73.4% × 79.7% 教師 85.7% × 97.0% 担任同士が情報交換し道徳の授業改善に努めた。グループでの意見交換をふまえてクラス全体で意見を共有する授業展開も工夫してきた。今後、更にテーマを捉え、考える場面を設定していきたい。毎月、学年だよりに道徳で取り扱うテーマや題材名などを掲載したり、道徳通信を10月に発行したりしたが、まだ情報発信が十分とはいえないので、更に発信できるようにしたい。
	【目標指数】 生徒 90% 保護者 80% 教師 90%	等	【次年度の具体策】 ・年計に沿って計画的に授業を進める。 ・「道徳コーナー」を充実させる。
	7 道徳的実践力 生徒 私は道徳の時間に考えたことを実践しようとしている。 保護者 子どもは進んでよいことをしようとする心が育っている。 教職員 教職員は、道徳の授業の中で道徳的実践力に結びつくよう指導している。	【本年度の具体策】 ・道徳の授業の中で道徳的実践力に結びつくよう指導する。	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 63.6% × 68.2% 保護者 86.2% ○ 83.8% 教師 88.6% △ 90.9% 道徳教育の目標は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。また、家庭と学校とで話題を共有し教育効果を高めようと考え、道徳のテーマや題材を学年だよりに掲載したり、道徳通信を発行したりした。道徳の授業を日常につなげるように、日頃から道徳的な話題を生徒に提供し、道徳的な判断力、実践意欲と態度を育てていきたい。今後も、生徒が自らの成長を実感できるよう工夫を継続したい。
	【目標指数】 生徒 70% 保護者 70% 教師 90%	等	【次年度の具体策】 ・振り返りを充実させ、題材と自分との関わりを捉えられるようにする。
	8 学校行事 生徒 私は学校行事に積極的に取り組み、感動を共にし、充実感が味わえた。 保護者 学校は学校行事を通して、子どもが感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。 教職員 教職員は、学校行事を通して、生徒が感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。	【本年度の具体策】 ・学校行事を通して生徒が感動を味わえるようにする。 ・学校だより等で、生徒の活動の様子を積極的に保護者に知らせる。	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 88.5% ○ 89.6% 保護者 93.1% ○ 87.2% 教師 97.3% ○ 94.3% 体育祭は半日だが、文化発表会は1日で実施し、少しでもクラスの団結や達成する喜びなどを感じられるよう工夫を重ねたことで、生徒は学校行事に対し概ね意欲的に参加できた。また、体育祭は保護者観覧の制限をなくし、文化発表会は、制限を設けたが3年保護者が観覧をすることができ、保護者から好評を得ることができた。保護者のご理解・ご協力のもと、感染対策をしながら通常通り2泊3日の宿泊を伴う行事を実施できた。
	【目標指数】 生徒 85% 保護者 85% 教師 90%	等	【次年度の具体策】 ・行事を積極的にに行い、保護者の参観を可能な限りできるようにする。
	9 清掃活動 生徒 私は清掃活動に一生懸命取り組んでいる。 保護者 子どもは身の回りの整理整頓を心がけている。 教職員 教職員は、清掃活動において、「3つのルール」を徹底させている。	【本年度の具体策】 ・「3つのルール」の徹底。 ・机やロッカーの整理整頓を進んで行えるよう指導する。	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 93.3% ○ 91.9% 保護者 60.3% △ 61.0% 教師 86.8% ○ 77.1% 教師は生徒と共に清掃活動に取り組み、生徒指標の一つである「場を清め」の実践を積極的に図り、「身支度を整え、本気の15分、無駄話をしない」の『3つのルール』を定着させながら勤労意欲や愛校心を高めている。また、清掃活動だけではなく、身の回りの整頓を意識させることも継続して指導している。今後も学年だよりなどを通じて家庭とより連携し、勤労意欲を高めていきたい。
	【目標指数】 生徒 85% 保護者 60% 教師 80%	等	【次年度の具体策】 ・教室での整頓のルールをつくる。 ・ペーパーレス化を進める。
	10 生活習慣 生徒 私は「早寝・早起き」(23時前就寝、6時30分前起床)を実践している。 保護者 子どもは「早寝・早起き」(23時前就寝、6時30分前起床)を実践している。 教職員 教職員は、「早寝・早起き」(23時前就寝、6時30分前起床)を指導している。	【本年度の具体策】 ・「早寝早起き」(23時前就寝、6時30分起床) ・23時前就寝を働きかける。 ・実践できていない生徒が固定化されているので、実態を把握し働きかける。 ・電子機器の使い方の指導を継続する。	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 61.6% × 80.7% 保護者 62.4% △ 78.3% 教師 97.2% ○ 85.7% 今年度は、昨年度の評価を受け、項目を0時就寝から23時就寝に変更した。その結果、評価が大きく下がっている。中学生の発達段階を考えると体と記憶の関係から8～9時間の睡眠が必要である。睡眠は感染症の感染予防にも有利に働くと考えられており、体の発達、脳の発達それぞれに早寝早起きが重要である。寝る前のICT機器の利用を控えて質の高い睡眠となるよう学校と家庭が連携し、規則正しい生活習慣を確立できるよう働きかけていきたい。
	【目標指数】 生徒 70% 保護者 65% 教師 90%	等	【次年度の具体策】 ・「早寝早起き」 (23時就寝、6時30分起床)にする ・アンケートに「塾がない日」と加える。

<p>11 生活習慣(朝食)</p> <p>生徒 私は朝食を毎日食べている。</p> <p>保護者 子どもは朝食を毎日食べている。</p> <p>教職員 教職員は、生徒が朝食を毎日食べるよう指導している。</p> <p>【目標指数】</p> <p>生徒 95%</p> <p>保護者 95%</p> <p>教師 95%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生から、3年間かけて指導する。 ・欠食者への指導。 <p>等</p>	<p>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</p> <p>生徒 93.3% △ 94.8%</p> <p>保護者 92.5% △ 92.5%</p> <p>教師 100.0% ○ 91.4%</p> <p>あまり食べない、全く食べない生徒が22名もいることはたいへん心配である。ごはんなどの主食には脳のエネルギー源になるブドウ糖が多く含まれているので、朝食を摂ることににより脳と身体をしっかりと目覚めさせることができる。また、勉強等に集中できるようにもなるとも言われている。今後も、朝食を摂ることの大切さを生徒に伝え、給食日より保健だよりでも啓発し、保護者と意識を共有して、朝食摂取率100%を目指したい。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き声かけをする。 ・早起きを心掛けさせる。 ・一口でも朝食を食べるように声掛けする。 ・習慣作りをする。
<p>12 生活習慣(食生活)</p> <p>生徒 私は好き嫌い無く食べることができる。</p> <p>保護者 子どもは主食、主菜、副菜をまじえて食べるなど、望ましい食習慣を身に付けている。</p> <p>教職員 教職員は、主食、主菜、副菜をまじえて食べるなど、望ましい食習慣を身に付くよう指導している。</p> <p>【目標指数】</p> <p>生徒 80%</p> <p>保護者 80%</p> <p>教師 90%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌いなものもまず1口、徐々に。 ・野菜嫌いが多いため、指導。 ・準備を早くして、食べる時間を確保する。 <p>等</p>	<p>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</p> <p>生徒 74.2% × 75.3%</p> <p>保護者 78.2% △ 83.2%</p> <p>教師 94.4% ○ 88.6%</p> <p>89名(25%)の生徒が、嫌いなものは食べていない傾向にある。バランスのよい食生活は、健康な体や精神を維持し、免疫力を高める効果がある。特に、中学生にとっては、心の成長にも大きく影響する。今後も嫌いな物でも少しは食べるといったことを、各家庭と連携して進めていければと考える。今後も給食だより等で生徒や保護者への啓発を続けていきたい。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いなく食べるように声かけをする。 ・生産者の方の声を聞かせる。 ・調理員さんに感謝する会を3学年全てで行う。 ・食料に困っている国の映像を見せる。
<p>13 部活動</p> <p>生徒 私は部活動(文化系も含む)に一生懸命取り組んでいる(取り組めた)。</p> <p>保護者 学校は部活動の指導を一生懸命に取り組んでいる。</p> <p>教職員 教職員は、部活動の指導を一生懸命にやっている。</p> <p>【目標指数】</p> <p>生徒 95%</p> <p>保護者 90%</p> <p>教師 98%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主担当も副担当も早く部活に行く。 ・生徒の様子をよく観察する。(継続指導) <p>等</p>	<p>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</p> <p>生徒 91.9% × 93.2%</p> <p>保護者 87.9% △ 89.5%</p> <p>教師 100.0% ○ 97.1%</p> <p>本校の部活動は、成績だけを求めるのではなく、取り組む姿勢やあいさつなどの礼儀についても指導している。このことは、「芳賀中プライド」と称され、今年も教職員研修等で確認をした。今年度は、コロナ以前のように大会が実施されることになり、多くの部活動で優秀な結果を残すことができた。今後も保護者の皆様の物心両面に渡る支えの中、顧問と生徒が工夫しながら活動し、生徒の成長を促していきたい。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの先生の手でよく観察する。 ・その子にあった指導をする。 ・継続的に休んでいる生徒への声かけをする。
<p>14 安心な学校生活</p> <p>生徒 私は学校生活が楽しい。</p> <p>保護者 子どもを学校に安心して預けられる。</p> <p>教職員 教職員は、信頼される学校づくりに努力している。</p> <p>【目標指数】</p> <p>生徒 85%</p> <p>保護者 90%</p> <p>教師 100%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学業指導の手引きの内容を、改善・充実し、職員間で共有しながら「居がいのある学級」作りを行う。 <p>等</p>	<p>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</p> <p>生徒 84.3% △ 88.8%</p> <p>保護者 92.8% △ 93.9%</p> <p>教師 100.0% ○ 97.3%</p> <p>43名の生徒が、否定的な回答をしていることを重要な課題と捉えている。教師は、全ての生徒が、居がいのある学校、楽しいといえる学校・学級づくりに取り組んでいかなければならないと考えている。そうすることが生徒の学力や体力の向上につながり、保護者の皆様からの信頼を得ることもつながる。今後一層努力していく必要がある。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学業指導の手引きの内容を、改善・充実し、職員間で共有しながら「居がいのある学級」作りを行う。 ・当番制によるHPの充実。
<p>15 いじめ対応</p> <p>生徒 私はみんなが安心して気持ちよく生活できるように行動している。</p> <p>保護者 学校はいじめが起らないように、また、起こったときにはすぐ解決するように取り組んでいる。</p> <p>教職員 教職員は、いじめが起らないように、また、起こったときにはすぐに解決するように取り組んでいる。</p> <p>【目標指数】</p> <p>生徒 90%</p> <p>保護者 75%</p> <p>教師 100%</p>	<p>【本年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有化と、初期対応の体制強化をしていく。 ・エンカウンターを取り入れ、未然防止策を充実していく。 <p>等</p>	<p>【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】</p> <p>生徒 86.0% × 89.1%</p> <p>保護者 73.0% △ 71.2%</p> <p>教師 100.0% ○ 100.0%</p> <p>本校のホームページには、いじめ防止基本方針が掲載されており、「いじめをおこなさい」「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢で取り組んでいる。「生徒居るところに教師あり」を実践し、生徒指導部会や学年主任会を毎週開催し、生徒の情報を共有している。生徒には、いじめアンケートや教育相談を毎学期実施している。また、学習とも関連付け、「学業指導」を通して、いじめのない学級作りを行っている。今後も、様々な工夫を凝らしながら居がいのある学級・学年・学校づくりに取り組みたい。</p> <p>【次年度の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有化と、初期対応の体制強化をしていく。 ・業務の精選により、生徒に関わる時間を増やし未然防止を図る。 ・全学年で、問題行動への対応を共通理解し、指導に当たる。 ・いじめアンケートを継続して行う。

プロジェクト 生き方	16 基本的生活習慣 生徒 私は「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣が身に付いている。 保護者 学校は「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣の定着を図っている。 教職員 教職員は、「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣の定着を図っている。	【本年度の具体策】 ・「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣の徹底を、生徒のリーダーシップのもと、全学年、全クラスが同一歩調で身に付けさせる。 ・あいさつ運動の、内容の工夫改善を図っていく。	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 85.4% ○ 91.9% 保護者 89.6% ○ 86.0% 教師 97.3% ○ 97.3% 時間に関しては、概ね守って生活できていると考える。また、あいさつがよくできているという意見が多いものの、以前よりできなくなった、声が小さくなった、地域ではできていない等の意見もいただいている。あいさつや整理整頓については、継続的に指導を行っているが、全員がきちんとできるとはいえない。今後も、地域や家庭と連携し、芳賞中の伝統としていけるように改善していきたい。
	【目標指数】 生徒 80% 保護者 85% 教師 90%	等	【次年度の具体策】 ・生活習慣を、生徒会や委員会の活動のもと、全学年、全クラスに同一歩調で身に付けさせる。 ・あいさつ運動の、内容の工夫改善を図っていく。(各クラスごとなど)
	17 地域貢献活動 生徒 私は地域行事に参加したり、地域の方にあいさつしたり、地域や他の人のためになる行動がとれている。 保護者 学校は子どもが地域行事に参加したり、地域の方に挨拶をしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるように指導している。 教職員 教職員は、生徒が地域行事に参加したり、地域の方にあいさつをしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるように指導している。	【本年度の具体策】 ・コミュニティスクールの実践に合わせて、学校支援ボランティアの活動を充実させる。 ・町と協力してジュニアボランティアの活動を、充実を図る。 ・地域での活動の際に、中学生らしい行動が取れるように指導する。	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 69.5% × 76.3% 保護者 78.2% △ 78.8% 教師 97.3% △ 94.6% コロナ禍で地域の方と触れ合う機会は少なくなり、生徒は地域行事に参加できていないと感じている。校長講話でも、親戚や地域の人へ積極的にあいさつしようと呼びかけた。学校運営協議会では、生徒が遠慮してしまうことも多いので地域の方からも生徒にあいさつをしてほしいと話した。また、コロナ禍で参加数が減少してしまった地域ボランティア活動に関して、参加の意義や重要性を知らせ、募集や参加しやすい体制を検討し、地域と共に生徒を育てていきたいと考えている。
【目標指数】 生徒 75% 保護者 80% 教師 95%	等	【次年度の具体策】 ・コミュニティスクールの実践に合わせて、学校支援ボランティアの活動を充実させる。 ・町と協力してジュニアボランティアの活動を、充実を図る。 ・地域での活動の際に、中学生らしい行動が取れるように指導する。	
18 夢の達成 生徒 私は夢をもち、その達成のためにがんばっている。 保護者 学校は子どもが夢をもち、その達成のためにがんばるように指導している。 教職員 教職員は、子どもが夢をもち、その達成のためにがんばるように指導している。	【本年度の具体策】 ・系統立てた進路指導の充実を図る。(学級活動の確保) ・教育相談の充実を図る。	【本年度の達成状況(今年:ゴシック 昨年:明朝)】 生徒 59.9% × 70.6% 保護者 74.1% × 74.7% 教師 97.2% △ 97.3% 今年は、幼稚園訪問などは実施できなかったが、マイ・チャレンジや立志の旅路は、コロナ以前と同様に実施することができた。生徒は、10ポイント下がっており、進学などの進路指導だけではなく、キャリア教育を充実し自分の将来について系統立てて、考えさせるようにさせたい。今後も、将来について考え、夢に向かって一生懸命に努力できるように支援を続けていきたい。また、保護者や地域との連携も深め、教育効果を高めていきたい。	
【目標指数】 生徒 80% 保護者 80% 教師 100%	等	【次年度の具体策】 ・系統立てた進路指導の充実を図る。(学校行事と関連させる) ・教育相談の充実を図る。 ※アンケート項目の変更 「夢」→「夢や目標」に変更	

8 学校関係者評価のまとめ

評価(4:そう思う 3:ややそう思う 2:あまり思わない 1:思わない)

	評価事項	評価(人)				意見等の自由記述欄
		4	3	2	1	
1	学校は、学校関係者評価委員(学校運営協議会委員)との間で、十分な意見交換や対話を行い、学校の状況について相互の共通理解を深めるよう留意しましたか。	5				<ul style="list-style-type: none"> 相互の共通理解の基で発見した課題を、教育委員会事務局において数量化予算化して課題の解決策を推進してほしいと思います。 学校運営協議会にも必ず出席して学校の様子など詳しく話してくれている。各学校の分科会では、学校の中や生徒児童の様子も見せてもらっている。また、学校行事にも参加させてもらっている。
2	学校は、安心・安全な学校づくりに努めていますか。	3	2			<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話等の所持判断を文部科学省は新たな例外規定により現場に委ねました。父兄生徒の思いを更にご理解頂き、生徒の身体危険緊急時への対策の一步前進に努めてほしいと思います。 (どうしても下校時女子生徒への声掛け案件に焦点が行ってしまう)被害生徒へのその後の配慮が不足しているように思える。 アンケート14で否定的な回答をした少数意見にもしっかり向き合っている点は好感が持てる。学校の中は安全安心だが、先日戸田市でおきた事件のように進入については心配が残る。

3	学校は、地域と連携・協働し、地域から愛され、地域に貢献できる学校づくりに努めていますか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・竹イلمネーションやプロジェクトHなどの新たな地域貢献に努められ、自治会連合会といたしましても大変評価させて頂いております。今後は自治会等の地域活動もコロナ前に復活すると見込まれますので、更なる地域との連携・協働による学校づくりに努めて頂きたいと思ひます。 ・コロナ禍を脱けて今後、より期待しています。 ・芳賀中生は地域から愛されている。プロジェクトHで地域の認知度も高まっていて学校に協力したい地域の方は少なくない。ただ、学校がどこまで門戸を開いているかは疑問である。アルミ缶集めにしても、生徒が自分たちだけの力だけで成し遂げたいと思つてのことか、地域に呼びかけるのがぎりぎりになってからなのが残念である。昨年、地域の方が持ってきたアルミ缶が汚くて困つた話は聞いている。だから地域に呼びかけるのは止めよう、ではなく地域とともに解決しようと考えていただけるとありがたい。
4	学校は、学校経営の方針を「本年度の努力点」に反映して教育活動を実施しましたか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・耳に届く保護者や関係者からの情報によると、休業期間(コロナ対応)での家庭学習の取組指導が不足していた様子。 ・県や町の指導主事を迎えて教師のスキルアップに努めたことが「プロジェクト知」に発揮されていて、工夫を凝らした指導になっていると思う。
5	児童・生徒、保護者による学校評価アンケートの「評価項目」や教職員による自己評価の「評価項目」は適切ですか。 (「本年度の努力点」の実施状況が把握できるようアンケートが構成されていますか。)	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・2コミュニケーション力、18夢の達成など生徒と教師の達成状況のパーセンテージに開きがあるのはどうしてなのか。教師が投げかけたものが生徒に届いていないということなのか、残念な気がする。
6	保護者アンケート結果に対する学校の考察や改善策や学校の自己評価における考察と改善策は適切ですか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめは必ず存在している」と想定し、大変とは存じますが現在の指導効果を検証しながら、更なるきめ細やかな生徒観察と指導によりいじめのない現状維持に努めてください。 ・12生活(食生活)習慣<次年度の具体策>生産者の方の声を聞かせる→野菜提供者へ取材し、DVD化したそうだが、生産者が一番伝えたかったことがCutされていたと残念がっていた。 ・家庭学習、生活習慣など保護者に会う機会が少ないと学校側の思いが伝わりづらい。ホームページをチェックしている保護者は多いので「学びのすすめ」「学習のしおり」など学校側の思いを載せてもいいのでは。堅すぎるかと嫌がられるかな。
7	学校の自己評価における達成状況は適切ですか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・1生徒の学力向上、2コミュニケーション力、3学習意欲の向上、の達成状況では教師100に比較し、生徒保護者率が低く乖離しています。教師自己評価率100を今後も継続して頂き、その成果として、全国、県内学力の平均点を超える得点の確保に努めてください。
8	学校は、自己評価並びにそれを踏まえた今後の改善方針について、広く保護者に公表していますか。	4		わからない1名
9	学校は、全ての教育活動を通して、学校教育目標の実現に努めていますか。	4	1	
10	学校は『芳賀町こども憲章』の達成状況を自己評価にて把握していますか。			
	①『やりぬく心』 将来の夢や目標に向かって学び、努力します	4	1	
	②『元気なあいさつ』 心を込めてあいさつし、地域の人を笑顔にします	5		
	③『正しい習慣』 体と心をきたえ、健康に過ごします	5		
	④『思いやりの気持ち』 命の大切さを理解し、いじめを許さず、友情を育みます	4	1	
	⑤『誇れるふるさと』 美しい自然と良き文化を大切にします	4	1	

11 今回の学校関係者評価から、次年度(令和5年度)の学校経営方針に対するご意見やご提言があったら自由にご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の理念に、学校を核として地方の創生が追加されましたので、芳賀の地域を愛し、地域に貢献する人材の更なる育成に努めるため、学校経営方針中に「地域を思う子の育成」を追加明文化するなどしていただき、地域活動との連携強化を期待しております。 ・なお参考ですが、過日の「芳賀町の二十歳のつどい」閉式の言葉として古壕教育長が地域への感謝等、同様趣旨の地域への言葉を述べて式典を締めましたので、自治会連合会で大変話題となりました。 ・自己表現ができるようになると全てうまくと考える。自分の意思表示から意志へ繋がるようになると、充実した時間を作るようになるであろう。 ・たくさんの大人と出会うことも、そのチャンスを作る。どんどん、地域の力を借りたら良いと考える。大人が夢を語っていれば子どもも夢を見付けやすくなる。夢とは、～したい!で良い。職業でなく、人間像。 ・18夢の達成の生徒の達成状況が低いのが気になる。自信がもてないと夢を描くのは難しい。それがあいさつや思いやりの気持ちにつながっていると思う。あいさつをしても返してもらえないかもと考えると元気にあいさつできないし、思いやりの気持ちももてない。地域に愛されていることを実感してもらえよう地域も努力したい。 ・登下校について、学校から離れると気が緩むのか並列になっているのを見かける。家まで無事に帰ってもらいたい。
--

9 学校関係者評価を受けて

・本年度は、新型コロナウイルス感染症の予防をしながら、通常に近い形で学校行事を開催してきました。保護者の皆様には、好評をいただいております。来年度も生徒の様子を保護者に直に見ていただく機会を作り、さらに、学校だよりや学年だより、保健だより、給食だより等のお便りの内容を精査し、ホームページによる情報発信についても定期的の実施していく予定です。

・生徒の安全安心については、学校として町内の危険箇所を明確に分かるようにすること、子ども100番の確認、また交通安全教室だけではなく、防犯教室などの企画をし、自己防衛ができるようにしたいと考えています。また、長期休業中の見回りに関しても、お店や公園などの非行防止の見回りではなく、安全な登下校を見守る体制へと改善していこうと考えています。

・生徒、保護者、教職員のアンケートで、教職員の評価に対して、生徒、保護者の値が低い項目があるので、今年度の反省を生かして少しでも来年度数値が向上するようにしたいと考えています。特に、学力向上に関しては、教員の意識改革、授業改革に努めていき、主体的に学べる生徒となるようにしたいと思います。また、ICT関係では、家庭でのタブレットPCの有効活用ができるように検討していきたいと思います。

・保護者、地域の協力を得てアルミ缶を回収し、プロジェクトH2の花火を打ち上げることができ、生徒・保護者・地域から好評を得ることができました。ふるさとを愛する生徒(本校の使命)達成に向けて、今後もさらに連携を深めていき、生徒が地域に出て行く機会が増えるようにしていきたいと思います。

・いじめ対策や「学校が楽しい」などの否定的な意見に対しては、生徒に寄り添いながら、学校・学年・学級の行事等の実施、教育相談活動の充実などに取り組んでいきたいと思っています。

・今後も、教育目標実現のため、知・徳・体のバランスのとれた芳賀町に誇りをもち明日の芳賀町を担う生徒の育成を目指し、全職員で取り組んでまいります。